

★検査材料は遺伝子専用としてお送りください。
 遺伝子以外の項目と重複している場合は必ず遺伝子用に検査材料を分けてください。

| 項目名 | 検査材料 | 送付方法 | 所要日数 | 検査方法 | 検査項目の説明、注意事項 |
|--|--|-----------------|----------|---------|---|
| New!! FCoV 定量 遺伝子検査 ★ | 全血 EDTA処理 1mL | 冷蔵 禁凍 | 5日 以内 | RT-qPCR | 1.健康例に対してFCoV感染の有無と程度の確認はできません。このため健康キャリア、未発症キャリアの検査についてはFCoV抗体検査をご利用ください。 2.血液材料(EDTA処理全血)はFCoV定量遺伝子検査を実施いたします。なお、体腔内貯留液(腹水・胸水)および脳脊髄液のFCoV遺伝子検査はこれまでの定性法で検査いたします。 3.全血材料はヘパリン処理だけでは凝固により遺伝子の抽出が不十分となることがあるため、必ずEDTAで処理してください。 |
| FCoV 遺伝子検査 (定性) ★ | 胸腹水 0.3mL ・ 脳脊髄液 0.3mL | 冷蔵 | | RT-PCR | |
| FCoV 抗体検査 | 血清・血漿 0.03mL ・ 脳脊髄液 (CSF) 0.1mL | 常温 冷蔵 | 3日 以内 | ELISA | 1.FCoV抗体のレベル(抗体価)を測定します(定量検査)。 2.胸腹水中の抗体価は血清中の抗体価とほぼ同じ、もしくは若干低めの値を示します。 3.家猫以外の猫科動物(ライオンやチーターなど)では若干検出感度が低下することがあります。 |
| FIP診断のため検査 | | | | | |
| AGP (α 1酸性 糖タンパク) | 血清・血漿 0.05mL (胸水・腹水 は不可) | 常温 冷蔵 | 4日 以内 | SRID | 1.弊社のAGP検査はFIPの診断にご利用ください。その他の疾患や健常猫の基準値は設けておりません。 2.過度の溶血材料については正確な結果がご報告できない場合があります。 3.腹水や胸水の場合は血清中よりも低く測定されるため、本検査の材料は胸腹水貯留症例であっても血清または血漿でご依頼ください。 |

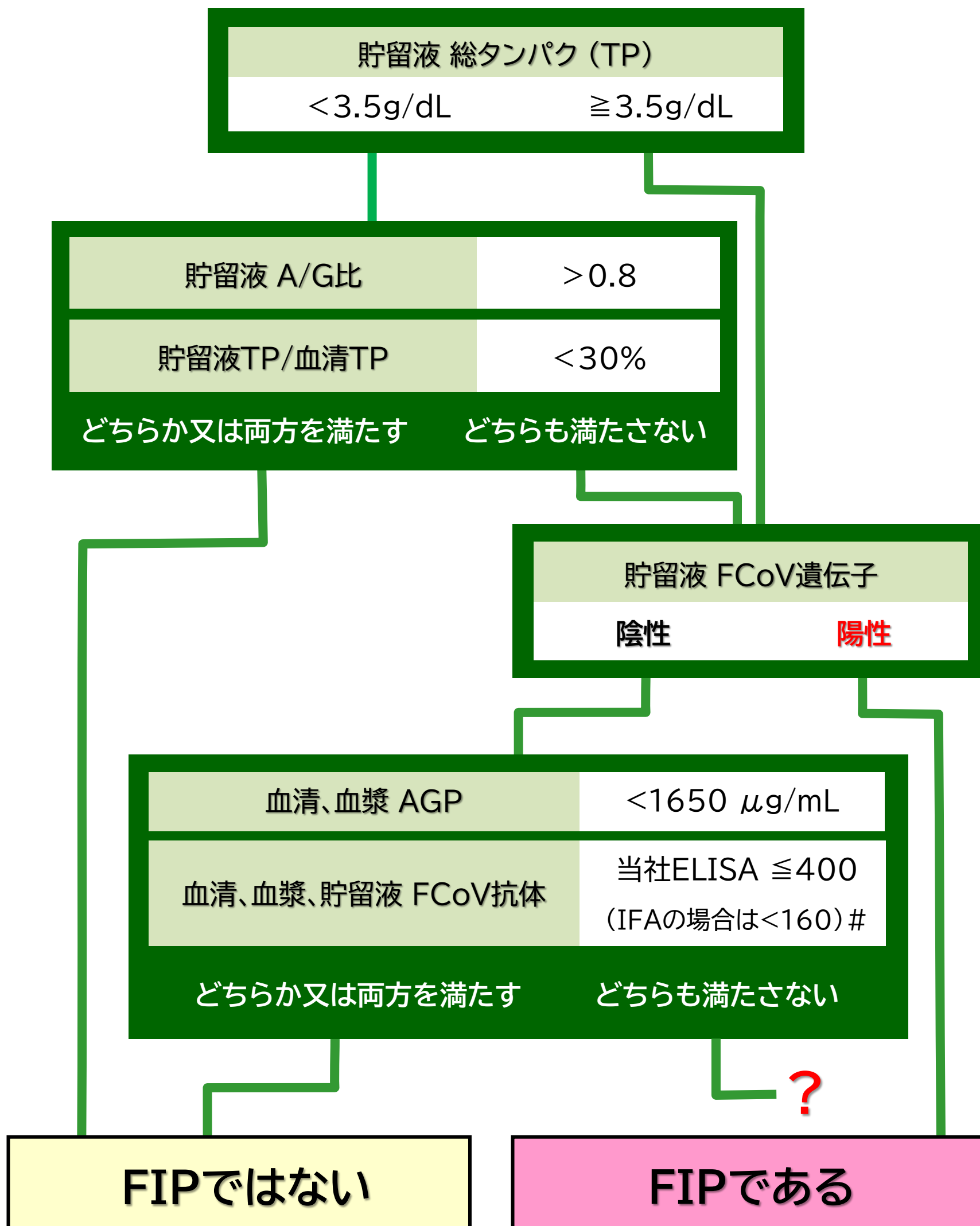
●EDTA処理全血を検査対象とした「FCoV定量遺伝子検査」を2021年1月12日より開始いたしました。

FCoV定量遺伝子検査におけるFIP診断基準

| ウイルス量 (Log TCID50/0.1mL) | 特異度 | コメント |
|-----------------------------|--------|----------------|
| 1.6未満 | 50%未満 | |
| 1.6～2.2 | 50% | |
| 2.3～2.5 | 80%以上 | FIPの可能性がある。 |
| 2.6～3.0 | 93%以上 | FIPの可能性が高い。 |
| 3.1以上 | ほぼ100% | FIPの可能性が極めて高い。 |

●本検査の結果だけでなく、他の検査結果とあわせて診断してください。

ウェット型FIPを疑う例で 体腔内貯留液が採取できた場合



？ 現状では診断は成立しません。日数をあけて再検査されるか、他の疾患の可能性を検討してください。

他社の抗体検査結果の場合は、世界的な参照法であるIFA法との相関性、換算法についてご利用の検査機関にお尋ねください。

ドライ型FIPを疑う場合 (または 脳脊髄液や貯留液が採取できない場合)

| FCoV抗体価 (血清、血漿) | | | | | |
|-----------------|------|---------|----------|------------|--------|
| 当社ELISA | <100 | 100-400 | 800~3200 | 6400~25600 | 51200≦ |
| IFA | <160 | | 160~640 | 1280~5120 | 10240≦ |
| FIPに対する特異度* | 5% | 10% | 20~40% | 50~80% | 90%~ |

| AGP (血清、血漿) (μg/mL) | |
|---------------------|-------|
| <1370 | ≧1370 |

| AGP (血清、血漿) (μg/mL) | |
|---------------------|-------|
| <2190 | ≧2190 |

| FIPを否定するために | | FIPを肯定するために | |
|--------------------------------|----------------------|--------------------------------|----------------------|
| AGP (μg/mL) | <960 | AGP (μg/mL) | >2650 |
| A/G比 | >0.9 | A/G比 | <0.5 |
| 好中球 (/μL) | <1.1×10 ⁴ | PCV (%) | <25.0 |
| リンパ球 (/μL) | >1.5×10 ³ | リンパ球 (/μL) | <1.5×10 ³ |
| リンパ球 (/μL) | >1.5×10 ³ | 単球数 (/μL) | >0.9×10 ³ |
| FCoV抗体価# (当社ELISA) | 上記のうち基準を満たす項目数 | FCoV抗体価# (当社ELISA) | 上記のうち基準を満たす項目数 |
| <100 | 1項目以上 | ≦400 | 全項目 |
| 100~400 | 2項目以上 | 800~3200 | 4項目以上 |
| 800~3200 | 3項目以上 | 6400~25600 | 3項目以上 |
| 6400≦ | 全項目 | 51200≦ | 2項目以上 |
| 所定の項目数を 満たした 一部満たした 全く満たさない | | 所定の項目数を 全く満たさない 一部満たした 満たした | |

| FCoV定量遺伝子(EDTA全血) (Log TCID ₅₀ /0.1mL) | |
|--|------|
| ≦1.5 | 1.6≦ |

| FCoV定量遺伝子(EDTA全血) (Log TCID ₅₀ /0.1mL) | |
|--|------|
| ≦2.5 | 2.6≦ |

FIPではない

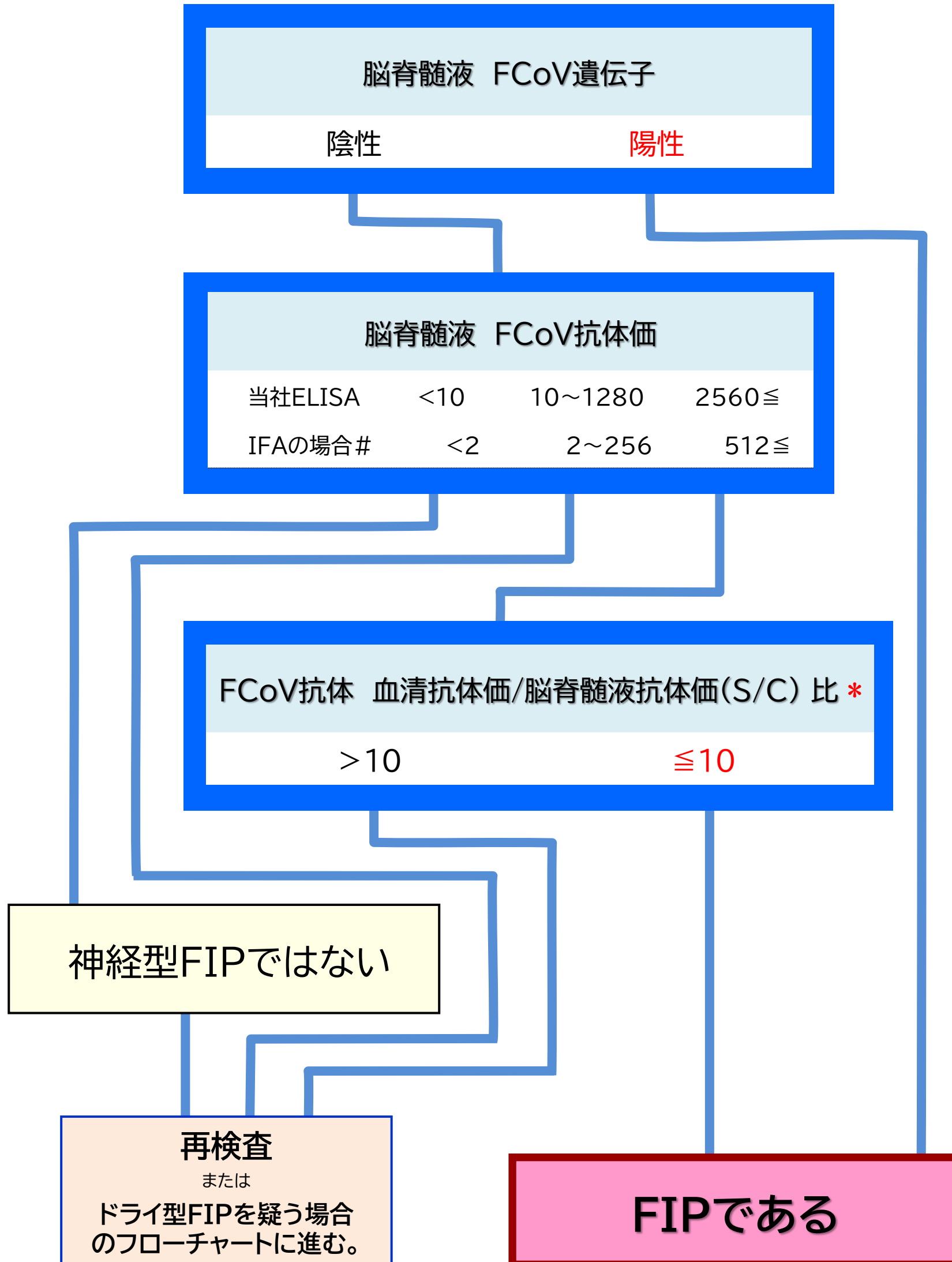
FIPである

* 特異度は臨床所見からFIPが強く疑われる例に対するもので、健康例や他の疾患の可能性がある場合はあてはまりません。

? 現状では診断は成立しません。日数をあけて再検査されるか、他の疾患の可能性を検討してください。

他社の抗体検査結果の場合は、世界的な参照法であるIFA法との相関性、換算法についてご利用の検査機関にお尋ねください。

神経型FIPを疑う例で 脳脊髄液が採取できた場合



* 例) 血清抗体価 25600、脳脊髄液抗体価 5120の場合; S/C=5
 # 他社の抗体検査結果の場合は、世界的な参照法であるIFA法との相関性、換算法についてご利用の検査機関にお尋ねください。